

## 達成状況評価書(平成26年度)

部局名:産業科学研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成26年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>特になし。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成26年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成26年度は、基盤的研究の顕著な成果として歩容映像解析とその科学捜査利用に関する研究が科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(研究部門)を受賞したほか、トポロジカル絶縁体・超伝導体の先駆的研究が大阪科学賞を受賞するなど、成果が上がっており、大学の実績として評価できる。</p> <p>また、国際交流における持続的な人材交流と国際共同研究を推進するための組織である「国際共同研究センター」に既存の7つの国際連携ラボに加えて、2つのラボを新設し、国際的な共同研究を推進したほか、共同開発を本格的に進めるため、ベルギーの研究機関であるimecを企業リサーチパークに誘致するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成26年度は、部局独自のキャリア形成教育事業として、複数の予算を組み合わせて、教員・学生の海外派遣、海外インターンシップ、ワークショップを実施し、さらに2つの国際連携ラボの設置、ナノテクセンターでの客員外国人との共同研究を推進し、国際的共同ネットワークを拡充するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成26年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>特になし。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】</p> <p>中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成26年度は、国際連携ラボ新設による国際共同研究の推進、海外研究機関の誘致など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>